

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 23 日(火) 6 時 ~ 時		
市町村名	美麻村	グループ名	
	要 旨		
県	1. 堀金 - 大町。15km調査区間になっているが、ルートは決まっていない。変更可能かについては知事は白紙としている。中立の立場で皆さんの意見聞いている。		
	2. 意見交換会での意見が地元か他から来た人の意見かどうかについては、区別していない。各市町村にお住まいの人の意見。		
	3. どの程度道路、規格かは、4車線以上・立体交差・信号無い、60～80kmで走行できる規格。		
	4. 実現性については、知事の方針は白紙で意見を聞いている状態。		
	5. 人口の増加根拠は、資料により穂高堀金あたりが1995 - 2025年人口の増加が予想されている。		
	5. 小谷R148整備中で、小谷が道の駅付近が終わるとR148一次改良済み。		
	6. 完成までの期間は、堀金 - 大町15kmが調査区間である。通常調査区間でルートの検討・環境アセス・都計。その後整備区間になり、実施設計・用地買収・工事となる。調査区間の仕事は順調にいて3～5年かかる。整備区間になり、事業化されて工事を行うが年数は未定。		
	7. 白馬以北の状況は大部分一次改築済み(小谷村道の駅南側を除く)		
A	説明があったが落ちている点はあるか。話を戻す。この地域で必要なのか、必要無いのか。率直な意見を聞きたい。		
M	十分な説をいただいた。賛成の立場から一言、知事のいる限り無理じゃないかと話したら5年、10年のサイクルで考えていかなければいけない。		
	大町推進している。本当の事をいわないといけない。インター有れば企業として時間のラインに乗って事業できる。 富山 - 小谷は1万～1万5千台通る話を聞いている。関越道のほうが首都圏に早い。大町～豊科出来ればこのルート多くなる。大町を中心に考えた方が良い。 反対の意見を考えると自然環境破壊。県で進めている道路は最善の工法とっている。人間に必要な自然。 ・広い道路が必要か→道路事情が悪いから。 ・大系線廃止→ ・既存の道路→他事業の予算を廻すことは無い。 ・大型事業→予算が余ってしょうがなくやる事業はない。 地元にも力を入れれば良いこと。 反対の要因全くない。まず一団となって進めてほしい。		
D	全く同感。大町はこの地域の中核である。高速インターから15分以内が企業進出のカギ。当時の高速問題で長野道が大町近くまでできてくれれば良かった。 30～50年先の事考えていかなければならない。何年かかっても作る必要ある。 70年間交通の進化見ている。自動車道が最も大事。是非やってもらいたい。		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 23 日(火) 6 時 ~ 時		
市町村名	美麻村	グループ名	
	要 旨		
H	賛成の立場。85人から聞いたら90%の方が必要だと答えた。 車は足や靴と同じ。大町を超えた通勤を求めていく時代。 ガソリン税、重量税をこういうための目的に使う。 21世紀に向けて取り組んでいくことが大事。 未来を作る中で取り組んでもらいたい。		
E	県の説明は白紙であるが、賛成する場合、波田町～山麓線に賛成するのか、どうするのか話すべきだ。 ルート変える政治力あるのか。 波田町起点は考え変わってくる。具体的に話した方が良い。 今回の話は合併と関係してくる。シミュレーションを行われている気がする。 仮に出来たとすると多大な資金がいる。金は無限に無い。 美麻の現況整備どうなるか。美麻はどういう主張をしたかになってしまう。 地元にとって役にたたない道路を作ってしまう形になってしまわないか。 主体性を持って賛成、反対を討議してほしい。 国道は市町村が維持管理していくようになっていく 産業、観光→大町素通り、市内さびれる。大町にメリットない。こういう考え方持ってほしい。波田が栄える。		
C	賛成の立場。豊科～大町～美麻を通ってもらいたい。 質問 あづみの公園があったから、波田が起点になったのか。		
G	質問/調査区間、ルート決まらないのにどうやってやるのか。3本もあるのが疑問。		
県	波田～糸魚川、豊科～安曇野、豊科～大町の3案比較で投資効果が必要。交通量が大きいルート。波田～大町が効果あることになった。 波田～大町調査区間での調査区間選定には、国営公園はポイントの1つになった。(決定の根拠資料があるので回覧)		
I	美麻村へどう結びつけるかカギ。 人間がいなくなると環境壊れていく(高地の例)。 賛成の立場だが、堀金から大町では美麻にとって意味ないので反対(池田街道なら美麻、八坂の人も住める。高瀬川左岸) 最短距離で豊科～大町を望む。		
G	少しずつ本音が出てきた。大町から南の道は、ある中で整備して行かなければならない。大町以北未整備。この計画のため小谷バイパス無理か。利用できるのか。通期道路にはならないのでは。財源の中で地域の道路を整備して行く方がためになる。 質問/ 問答集の出所どこか。 資金、どういうところへ配布したか。 村の方で取りよせて配布してもらいたい。		

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10 月 23 日(火) 6 時 ~ 時		
市町村名	美麻村	グループ名	
	要 旨		
県	事務局、大町市でやっている。勉強する資料として作成した。協議会の名前が入っている。市で作る議員に配布した。協議会の幹事は市である。		
K	総会で詰めて対応したい。		
I	短い期間で美麻に良い道にしてもらいたい		
M	自分の意に添った道路なら良い。 オリンピック道路の青具～長野は利用無い道かと思ったが、十分活用出来る。 要はインターまでどの位でいけるか。とりあえず進める事が大事ではないか。		
A	多くの人の意見を聞いてみるのが大事。 大北議員大会で論議されており賛成者多い。 歴史的経過ある。全国的規模で考えていかなければならない。		
質問	小谷交通量調査。長野大町線の交通量調査(美麻分)。予想どのくらいになるか。現実と流入はどうなるのか(青具大橋)。		
J	専門的意見多い。賛成の立場から。 ルートは大町を境にして南と北がある。白紙ということで各地域の意見を集約している中で、私としては豊科～糸魚川、美麻～糸魚川、糸魚川～長野を考えてほしい。 大町以北は生活道路が産業道路化されているのでトンネルで。 住民の利用出来る道。ほしいものはほしいと言うことで進めてもらいたい。		
県	次回やるとすれば11/9日		
I	意見出つくしている。		
B	この意見を村民に知らせるか。		
D	文書にして確認して公開してはどうか。		
A	言葉の表現難しい。		